

ふれあいの橋の会

REPORT さかい

訪問日 2025年9月18日(木) 10:00 ~ 11:30

訪問先 介護老人福祉施設 みなと幸朋苑

グループホーム みなと 境港市上道町 2053-6

出席者 【委員】 川口 昭一、中本 勝、遠藤 博江、植田 建造、遠藤 恵子

【さかいエリア】

藤本 健 (介護老人福祉施設 新さかい幸朋苑・みなと幸朋苑 施設長)

福井 真奈美 (介護老人福祉施設 みなと幸朋苑 係長)

植田 敦子 (グループホーム みなと 管理者・主任)

杉山 千樹 (介護老人福祉施設 新さかい幸朋苑・みなと幸朋苑 主任相談員)

【法人本部】 荒井 祐二 (監 事)

今回の「ふれあいの橋の会」は、2013年11月に開設した「みなと幸朋苑」を訪問しました。当初は、特養とショートスティで運営していましたが、2018年2月にショートスティをグループホームに転用。特養は、境港市民を対象とした定員29名の地域密着型。グループホームは、1ユニット9名で運営しています。隣接する新さかい幸朋苑と連携し、地域との交流事業が活発に実施されています。



開会（荒井）：療養されていた委員さんも快復され、久しぶりに全員の出席となりました。 本日は、みなと特養とグループホームみなとを見学していただきます。 配布しています評価表でチェックするとともに、他のエリアのレポートを参考にいただき、具体的な提言をお願いします。はじめに、**エリアの現況**を報告してください。

藤本施設長：秋らしい気候になりました。さかいエリアでは、グローバル人材の一環で、今年10月に8名のフィリピンの技能実習生を配属します。みなと幸朋苑には、2名予定しています。日本語を勉強されていますが、外国語翻訳機も補助的に利用してケアの充実を図ります。

荒井監事：こちらの各事業所では上道地区の自治会と連携し、防災避難訓練や納涼祭などを共催されています。**地域交流の現況**を報告してください。

藤本施設長：自治会との交流が活発で、さまざまな事業を実施しています。自治会役員の皆さんがとても積極的で、「次はこうしたい」と提案されることが多いです。

福井係長：介護施設では、防災訓練を年2回実施することが義務付けられています。上道自治会と共催で実施している訓練は、**津波被害を想定**し、新さかい幸朋苑の屋上に避難しています。地域住民が多く参加され、災害時用の炊飯器での炊き出し訓練、車椅子の操作訓練も実施しました。 次回は、救急蘇生法の訓練も取り入れようと検討しています。**納涼祭**は、開催に向けて何度も準備会を開き、当日は**500人を超える人**が集まりました。**境港総合技術高校**の生徒と連携し、eスポーツの取り組みとして太鼓の達人を近隣の小学生やご利用者と実施しています。**境港市立第一中学校**とも交流しており、本日も職場体験で2人の生徒が訪れて入居者と交流しています。

遠藤博江委員：上道地区と新さかい幸朋苑の交流は、年々活発になっており感心しています。 さらに**交流の輪が広がる**ことを願っています。



福井係長：**みなと特養の現況**を報告します。2013年10月に開設し12年が経過しました。コロナ禍で地域との交流が少なくなっていましたので、この会議室を活用した**喫茶を開催**する計画です。地域の皆さんに気軽に立ち寄っていただこうと考えています。

杉山主任相談員：境港市内には特養が3か所（こうほうえんが運営）点在しています。みなと特養は、定員29名以下の地域密着型特養。境港市民限定の特養です。平均介護度4.1、平均年齢87.1歳、年間退居者の推移は、一昨年24名、昨年17名、今年は現時点で3名で、ようやく通常の状態になってきたと感じています。

荒井監事：境港市は、3か所に特養があり、みなと特養は市民が対象。他市町村と比較すると入居が容易になっていると思いますが、現況はどうか。

杉山主任相談員：特養の優先入居判定会を毎月開催していますが、さかいエリアは、他エリアに比べ待機者は少ないと思います。有料老人ホームやグループホームが多いのも原因かと思います。

遠藤恵子委員：入居しやすい環境にあるようですが、**何年待っても入居できず困っている**という声をよく聴きます。申し込みをしてから、どのくらいの期間で入居できますか。

杉山主任相談員：介護度や家庭環境などを総合的に判断して決定しています。申し込んで2，3か月で入居できる人、2，3年待っても入居できない人、様々です。

藤本施設長：長期待機者には、点数が加算されるようになっていきます。

川口委員：退居者は、入院される場合や逝去される場合など色々かと思いますが、実態はどうですか。

福井係長：特養に入居される時点で、ギリギリの状態で入居される方が多く、看取り対応になる人が多いのも実情です。

藤本施設長：この狭い範囲に、小規模多機能施設、グループホーム、地域密着型特養、広域型特養などが集まって開設しています。こうした環境は、珍しいと思います。住み慣れた場所で住み替えをしますので、利用者も家族も安心されるようです。

植田主任相談員：**グループホームみなとの現況**を報告します。1ユニット9名。平均介護度2，3、平均年齢86，6歳、最高年齢者101歳が入居。ことぶきクラブ連合会の傾聴ボランティア、書道教室では植田建造委員にボランティアで協力をいただいています。入居者の皆さんには、洗濯物をたたむ作業など、できることは実施していただくようにしています。レクリエーションも嚙下体操など、日々工夫し楽しく過ごしていただくことを考えています。

植田委員：書道教室のボランティアをしています。特養もグループホームも地域密着型の施設で、ボランティアで訪問する場合、スムーズでとてもいいです。**ボランティアの輪を広げてください。**

荒井監事：隣接地に「みなと・ふれあいガーデン」があります。運営状況を報告してください。

福井係長：野菜を栽培していますが、猛暑で除草作業ができない状態でした。涼しくなってきましたので、再開したいと考えています。



メダカを飼育



みなと・ふれあいガーデン

《見学後》

荒井監事：配布しました**評価表**（①建物、施設内、周辺 ②職員の態度、接遇 ③ご利用者へのサービス ④その他）の**チェック項目**を照合し、**気づいた点**を指摘してください。

遠藤博江委員：ふれあいガーデンを見ましたが、今年は猛暑が続き、どこも**除草作業**ができず困っています。やむを得ないと思います。**利用者や地域の交流場所になるよう**お願いします。

福井係長：定期的に除草作業をしていますが、雑草はあっという間に育ち大変です。サツマイモを植えていますので、入居者の皆さんと収穫する予定です。その他にイチジクなど果樹も育っています。

中本委員：グループホームでは、男性介護士が昼食の調理をされていました。朝食と昼食は、グループホームで作り、夕食は新さかい幸朋苑の厨房から運ぶそうです。グループホームでは、同じ空間で食事や洗濯物などの作業が進められており、**家庭的でとてもいい雰囲気**でした。

植田主任：食事は職員が調理していますが、味付け具合は入居者の皆さんの希望を聞いています。グループホームの特色を生かした取り組みを進めています。

川口委員：各階の掲示板の内容を確認しました。みなと特養2階の1か所の掲示板が何も利用されていないのが気になりました。入居者は外部との交流が希薄になります。掲示板は活用すべきです。

遠藤恵子委員：2階の掲示板が利用されていなかったようですが、他の掲示板は季節感があり、とても良かったと思います。

川口委員：フィリピンの技能実習生が配属されるなら、国際色のある掲示物の検討をお願いします。

遠藤恵子委員：施設内を点検しましたが、掃除が行き届いていました。全体的に明るい雰囲気でした。トイレの掃除は、職員がされますか。

植田主任：グループホームは、職員が実施しています。

遠藤恵子委員：グループホームみなとには、中学生が職場体験で訪問されていました。入居者の皆さんは、日常的に中学生と交流する機会は少ないでしょうからとても嬉しそうでした。

植田主任：境一中の2年生2名が4日間、職場体験で訪問しています。

福井係長：幸朋苑では、市内の中学校で出前講座を実施しています。各中学校では、職場体験を実施していますが、生徒には単なる体験ではなく、各企業からのミッションや目的を持たせて実施されています。体験したことを校内で報告や掲示するようにしているようです。

遠藤博江委員：体験することだけでなく、進学、就職など将来を考えて体験する職場を選んでいるのは、とても意義深いことです。介護分野への就職に繋がる取り組みをお願いします。

植田委員：習字教室でグループホームを訪問しますが、外部からの訪問者は刺激があるようで、入居者はいきいきとされます。今日も中学生とトランプでのゲームをされていましたが、笑顔が溢れていました。外部との交流機会をもっと多く作っていただくようお願いします。

藤本施設長：長い期間、コロナの影響で交流が希薄化しましたが、今後はボランティアの皆さんをはじめ、多くの皆さんが気軽に訪問していただける機会を増やしたいと思います。本日は貴重なご提言をいただき有難うございました。

杉山主任：次回は、10月16日(木)10:00~グループホームひのでを予定しています。

④

